

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年6月28日
事業者名:	岐阜日産自動車株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・EV/e-POWER車の販売促進とメンテナンス技術の提供によるCO2排出量の削減 ・V2H含むEV周辺機器の普及に努め、再エネ活用・エネルギーの地産地消を目指しています(2025年:再エネ100%「日産でんき」取り扱い開始) ・社用車・サービス代車・従業員車のEV化促進		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに,⑪住 み続けられるまちづくり を,⑬気候変動に具体的 な対策を	〈2024年度実績〉 1. 弊社CO2排出量(社内): 2,082.8t-CO2/0.052t-CO2/ ㎡(敷地面積:41,306㎡) 2. EV/e-POWER車両登録構成比 :41.5%(内EV7.5%)	指標	CO2排出量の削減
					目標	(FY24実績比) 1. 弊社CO2排出量の削減:35%削 減 2. 車両構成比EV/e-POWERの向上: EV/e-POWER50%(内EV10%)
社会	・福祉車両の販売促進に努め、全ての人が安心・安全・快適に目的地へ移動できる社会の実現に努めています ・交通安全活動への参加/小中学校へ環境教育を通じたEV体験の出張授業を提供 ・「走る蓄電池」としてのEVの活用方法の認知度向上と普及に努め、”災害に強いまちづくり”を目指しています		③すべての人に健康と福 祉を,④質の高い教育を みんなに,⑪住み続けら れるまちづくりを	〈2024年度実績〉 1. 福祉車両:屋根付き展示場 に常時展示、訪問見学会 2. 環境教育:7か所(警察署 、小中学校)	指標	イベント・出張展示会の回数
					目標	1. 継続した展示会及び訪問見学会 を実施 2. パートナーと連携し積極的に適 宜開催
経済	・自治体・企業・団体との連携(連携の深化・実証実験) ・災害時にEVを電源として活用できる体制・BCP対策を支援 ・EVインフラの充実に向け企業と連携し、安心且つ楽しめる環境を整備		⑪住み続けられるまちづ くりを,⑮陸の豊かさも 守ろう,⑰パートナーシ ップで目標を達成しよう	〈2024年度実績〉 1. 新規パートナー:3自治体 /企業4社 2. 新規取組:2事例	指標	自治体・企業と連携した新規取組
					目標	災害に強いまちづくり、且つ誰も が楽しめる環境づくりに向け、パ ートナーと密に連携し推進してい く
ガバナンス	チェック					
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ 日産は、EVの活用による、社会の変革、地域課題の解決に取り組む日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」を推進し、脱炭素社会・強靱なまちづくり(強靱化(災害対策))に向けさまざまなパートナーの皆様とともに取り組んでいます。 ・各担当部署の活動を、社内配信ツール(都度)や、定例会議で共有 ・専門知識を有する場合は、専門家を招き勉強会を開催(オンライン配信も行い誰もが視聴可) ・SDGs、脱炭素及びEV関連の情報(世界事情含む)は、社内配信ツールを使い、本部スタッフからリアルタイムに情報共有がされている				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・新聞折込・地方誌など紙媒体掲載による露出 ・岐阜日産:https://ni-gifu.nissan-dealer.jp/top.html ・東海地区販売会社「中部電動化アクション ブルー・スイッチ中部」:https://nissan-chubu.jp/bsc/ ・日産自動車「日本電動化アクション ブルー・スイッチ」:https://www3.nissan.co.jp/first-contact-technology/blue-switch.html 〈近々の活動〉・SDGs専用HPの新規開設(活動の公表)・お客様対応をするスタッフはSDGsバッヂを装着(活動の公表/意識付け)				